2025年りんご病害虫防除暦(ふじ基準)

氷見市りんご組合 JA氷見市 富山県高岡農林振興センター

回数	月	時期	散布	散 布 薬 剤 名	希釈倍率	薬剤の調合	10a当	収穫前	年 間	対象病害虫	注意事項
剱		-3 /41	実施日		Now Year	(水100%当り)	散布量	日数	使用回数	77 37 71 11	●カイガラムシ類多発樹は、散布前にワイヤーブ
1	3	<u>中旬</u> (発芽前~芽出 直前直後)		トモノールS	<u>50</u> 倍	2 ""	300 ให้	発芽前~芽 出直前直後	_	ハダニ類、カイガラムシ類	ラシ等で削り落とす。 ●開花直前~落花20日後頃は、黒星病の重点防 除期にあたるので、散布間隔が開き過ぎないよう
				アントラコール顆粒水和剤	500 倍	200 g		45日前まで	4回以内	黒星病、赤星病、褐斑病、斑点落葉病	に注意し、丁寧に薬剤を散布する。 ●アブラムシ類の発生が目立つ場合は、4月上 中旬にバリアード顆粒水和剤4,000倍(収穫前日
2		上中旬		ダイアジノン水和剤34	1,000 倍	100 g	00 g 400 ""	30日前まで 4回以内	アブラムシ類、キンモンホソガ、ハマキムシ類	まで、3回以内)を単剤で散布する。ハチ類に対しての影響は少ない。	
	4			マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	●うどんこ病の被害枝、発生花(葉)そうは、せん除する。
		下旬		アスパイア水和剤	500 倍	200 g	!! av	30日前まで	3回以内	黒星病、黒点病、赤星病、褐斑病、斑点落葉病、うどんこ病	
3		(開花直前)		マイリノー	20,000 倍	5 mL	500 "ว่า			展着剤	
				カナメフロアブル	4,000 倍	25 mL		前日まで	3回以内	黒星病、黒点病、うどんこ病、褐斑病	●モモシンクイガ、ナシヒメシンクイの発生が目立 つほ場は、5月中旬に交信かく乱剤コンフュー
4		上旬 (落花後)		アタブロンSC	3,000 倍	33 mL	500 ไว้	7日前まで	4回以内	ハマキムシ類、ケムシ類	ザーRを100本/10a設置する。 ●アブラムシ類、カメムシ類の発生が多い場合
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	は、ダントツ水溶剤4.000倍(収穫前日まで、3回 以内)を散布する(4~5回目に混用可)。
				ユニックス顆粒水和剤47	2,000 倍	50 g		14日前まで		黒星病、斑点落葉病、褐斑病	●摘果時にモモチョッキリゾウムシの被害果は、園 外に持ち出し、廃棄する。
5		中旬		オーソサイド水和剤80	800 倍	125 g		前日まで	6回以内	黒点病、斑点落葉病、輪紋病、褐斑病、炭そ病	
	5			クレフノン	100 倍		500 12			果実の表皮障害防止	
				デランフロアブル	20,000 倍 2,000 倍	5 mL 50 mL		60日前まで	2回11년	展着剤 黒星病、斑点落葉病、褐斑病、炭そ病	
				ポリオキシンAL水和剤	1,000 倍	100 g		80 日前まで 3日前まで		赤衣病、褐斑病、斑点落葉病	
6		下旬		サムコルフロアブル10	5,000 倍		500 ly	前日まで		シンクイムシ類、キンモンホソガ、ハマキムシ類	
		, 1		クレフノン	100 倍	1 kg	ערן ססס	134 55	o Light	果実の表皮障害防止	
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	
				アントラコール顆粒水和剤	500 倍	200 g		45日前まで	4回以内	黒星病、黒点病、褐斑病、炭そ病	●赤衣病がみられた園地は、ポリオキシンAL水和剤1,000倍(収穫3日前まで、3回以内)を単剤で散布、または8回目の防除に加用し、り病部(薄いピンク色の病斑)を削り取った後に、バッチレート(3回以内)を塗布する。 ●薬剤の到達性を高めるため、主枝や亜主枝、主幹部から発生しているひこばえを整理する。 ●殺ダニ剤散布の際は、前日までに除草する。 ●6月下旬~7月中旬は、輪紋病、褐斑病の重点、防除期にあたるので、散布間隔が開き過ぎないよ
7		上旬		キラップフロアブル	2,000 倍	50 mL		14日前まで	2回以内	カメムシ類、キンモンホソガ、アブラムシ類	
				アプロードフロアブル	1,500 倍	66 mL	500 ๆๆ	30日前まで	2回以内	カイガラムシ類幼虫	
				クレフノン	100 倍	1 kg				果実の表皮障害防止	
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	
	6			ストロビードライフロアブル	2,000 倍	50 g		前日まで	3回以内	輪紋病、斑点落葉病、炭そ病、褐斑病	う注意する。
8		中旬		スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍		500 ドル	前日まで	3回以内	キンモンホソカ、カメムシ類、シンクイムシ類、コナカイカ・ラムシ類	
				マイリノー	20,000 倍	5 mL		45 17 44 4-4	o Divid	展着剤	
9		下旬		パスポート顆粒水和剤	1,000 倍	100 g	500 %	45日前まで		輪紋病、斑点落葉病、褐斑病、炭そ病	
9		l L Al		ダニゲッターフロアブルマイリノー	2,000 倍 20,000 倍	50 mL 5 mL	500 fá	前日まで	1回	ナミハダニ、リンゴハダニ、リンゴサビダニ 展着剤	
				オキシラン水和剤	500 倍	200 g		14日前まで	4回以内	輪紋病、斑点落葉病、褐斑病、炭そ病	●カミキリムシ類の被害がみられた場合は、7月
10		上旬		モスピラン顆粒水溶剤	4,000 倍		500 12	前日まで		アプラムシ類、キンモンホソカ、カメムシ類、シンクイムシ類	上旬~下旬にトラサイドA乳剤200倍(収穫30日前まで、3回以内)を、0.5~2L/樹を目安に、樹幹部
				マイリノー	20,000 倍	5 mL	5 6 6 PM	134 1-104		展着剤	に十分散布する。なお、葉や新梢にかかると薬害が出るので注意する。
				ユニックス顆粒水和剤47	2,000 倍	50 g		14日前まで	4回以内	黒星病、斑点落葉病、褐斑病	●ダイパワー水和剤はイミノクタジン(開花期以降 3回以内、ベフラン液剤25等)と、キャプタン水和
11	7	中旬		スミチオン水和剤40	1,000 倍	100 g	500 リツ	30日前まで	3回以内	カメムシ類、ハマキムシ類	剤(6回以内、オーソサイド水和剤等)の混合剤である。 ●炭そ病のり病果は摘み取り、園外へ持ち出し適
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	切に処分する。
				ダイパワー水和剤	1,000 倍	100 g		前日まで	開花期以降 3回以内	輪紋病、斑点落葉病、褐斑病、炭そ病	
12		下旬		ダントツ水溶剤	4,000 倍	25 g	500 ไว้	前日まで	3回以内	キンンモンホソカ゛、カメムシ類、シンクイムシ類、コナカイカ・ラムシ類	
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	
				ドキリンフロアブル	800 倍	125 mL		14日前まで	4回以内	斑点落葉病、褐斑病、炭そ病、すす点病、すす斑病	● 殺ダニ剤散布の際は、前日までに除草する。 ● スターマイトフロアブル散布後、ハダニ類が多
13		上旬		スターマイトフロアブル	2,000 倍	50 mL	500 リツ	前日まで	1回	ハダニ類	発した場合は、コロマイト水和剤2,000倍(収穫前 日まで、1回)を単剤で散布する。
				マイリノー	20,000 倍	5 mL				展着剤	●カミキリムシ類の食入孔を発見した場合は、エア ゾール式殺虫剤、ロビンフッド(収穫前日まで、5
	8			トップジンM水和剤	1,500 倍	66 g		前日まで	6回以内	褐斑病、すす点病、すす斑病	回以内)のノズルを食入孔に差し込み、薬液を注入する。
14		中旬		モスピラン顆粒水溶剤	4,000 倍		500 12	前日まで	3回以内	シンクイムシ類、カメムシ類、キンモンホソガ	●炭そ病のり病果は摘み取り、園外へ持ち出し適切に処分する。
				マイリノー	20,000 倍	5 mL		26-20-20-		展着剤	●台風等による長時間の強風や豪雨があった場合は、速やか(1~2日後)にトップジンM水和剤1,500倍(収穫前日まで、6回以内)を単剤で散布
15		下旬		ナリアWDG	2,000 倍	50 g	500 リツ	前日まで	3回以内	斑点落葉病、褐斑病、炭そ病、すす点病、すす斑病	する。
				マイリノー ガイパロー 水和剤	20,000 倍	5 mL		前日まで	開花期以降	展着剤	●木材腐朽菌由来の腐朽病害対策として、園内
16		上旬		ダイパワー水和剤 フェニックス顆粒水和剤	1,000 倍 4,000 倍	100 g 25 g	500 12	前日まで	3回以内	褐斑病、炭そ病、斑点落葉病、すす点病、すす斑病 ハマキムシ類、ヨモギエダシャク、ケムシ類	に発生したキノコは除去し、腐朽がみられた場合 は速やかに腐朽部を削り取り、バッチレート(3回
10		ᅩᇚ		マイリノー	20,000 倍	25 g 5 mL	500 Fi	יאוווו	² 回火円	大マキムシ類、ヨモキエタシャク、ケムシ類 展着剤	以内)を塗布する。 ●9月以降、多雨となった場合や褐斑病の発生が
	9			ストライド顆粒水和剤	1,500 倍	66 g		前日まで	3回以内	展看角 褐斑病、炭そ病、斑点落葉病、すす点病、すす斑病	多い園地は、トップジンM水和剤1,500倍(収穫前日まで、6回以内)、炭そ病の発生が多い園地は、
17	J	中旬		マイリノー	20,000 倍	5 mL	500 ""	13716		展着剤	ストライド顆粒水和剤1,500倍(収穫前日まで、3回以内)を単剤で散布する。
				ダイパワー水和剤	1,000 倍	100 g		前日まで	開花期以降 3回以内	褐斑病、炭そ病、斑点落葉病、すす点病、すす斑病	●カメムシ類の発生が多い場合は、スタークル類 粒水溶剤2.000倍(収穫前日まで、3回以内)を散
18		下旬		マイリノー	20,000 倍	5 mL	500 ly		JEWN	展着剤	布する(16~19回目に加用可)。 ■【11月以降;褐斑病対策】発生が多かった園地
_ ر	٠.	1 -		トップジンM水和剤	1,500 倍	66 g	F0 - ""	前日まで	6回以内	褐斑病、すす点病、すす斑病	では、「ふじ」の収穫前に被害落葉をほ場外に持ち出すか、乗用草刈り機で粉砕するなど、落葉処理を徴度する。
<u>19</u>	<u>10</u>	<u>上旬</u>		マイリノー	20,000 倍	5 mL	500 ไม้			展着剤	理を徹底する。
ш		<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	I	<u> </u>	<u>I</u>	1	1

[※]下線部は2024年からの変更点

[※]上記は2025年1月29日現在の登録内容です。散布に当たっては再度使用基準を確認しましょう!

[※]農薬が他の農作物に飛散しないよう注意しましょう!!